

PCP研究会
Newsletter

No. 11

Advance

~精神科薬剤師のさらなる進化への挑戦~

発行:PCP研究会広報委員会

巻頭言

3月11日、我々は東日本大震災という未曾有の体験をしました。被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げます。震災直後、三陸海岸の津波の映像を観て、映画の一場面かと思いました。早速、精神科薬剤師がこの状況で何ができるのかを考え、何とか早く現地に入って活動したいと考えましたが、交通手段の確保や現地の情報がよく分からないため、東北PCPの世話人を中心とした情報収集を行いました。その結果いくつかの精神科病院で被災により病院機能が麻痺したり、水や食料の確保が難しくなったりしていることが判明しました。被災後約1週間経ってようやく山形から仙台に入るルートと交通手段を確保することができたため、僅かですが水や食料、医薬品等をいくつかの精神科病院に届けることができました。その後3月末から福島県立医大の丹羽教授が中心となって活動していた“こころのケアチーム”に、さわ病院のチームと共に参加する機会があり、避難所を廻ることができました。

精神科薬剤師として、避難所の方々の精神疾患に対する薬物治療のサポートを考えていましたが、実際には血圧の管理や身体疾患に関する薬剤の問題が多く、精神的には、抗不安薬や睡眠薬の要望が主体であり、被災した方々に適切にこれらの薬剤を使用していただくために薬剤師の役割は重要でした。医師が診察し薬剤師が薬剤を選択したり、避難所の方々が持っている薬剤の鑑別と服薬の必要性を判断するなど、薬剤師の役割は、急性期の避難所においても重要でした。今後、被災地の復興が進み、精神科薬剤師の役割も本来の精神疾患を持った方々のケアに移行することになります。今回の経験から、精神科においても薬剤師の緊急援助チームを編成する必要があると強く感じました。災害を想定したチームで打ち合わせや訓練を行い、非常事態に対応できる精神科薬剤師の養成を検討していく必要があると考えます。

代表世話人 吉尾 隆

2011年度全国処方調査協力依頼

PCP研究会では、本邦の統合失調症に対する処方実態・動向を把握するため、2006年以降毎年処方調査を行っています。昨年度の調査では、全国163施設より総計25,346例ものデータをご提供いただきました。業務繁多にも拘らずご協力いただきました先生方、改めてお礼申し上げます。その結果、わが国も処方の適正化・単純化に向けて動き始めている気配が、確かに感じとれました。

さて今年も例年同様、10/31(月)に全国調査を行います。昨年を更に上回るデータ(30,000例)を収集し、より詳細な実態把握を目指したいと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。参加を希望されるご施設は、メールにて事務局までご連絡ください。

※2010年日本精神神経学会におけるPCP調査の発表は10月26日(東京)になりました。学会に参加される方は是非発表会場まで足を運んでください!

PCP調査委員会 宇野 準二

お知らせ

■平成23年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会

日時:平成23年10月13日(木)~15日(土)
(愛知県産業労働センター)

【精神科専門薬剤師精神医学セミナー】

日時:平成23年10月15日(土)
14時15分~15時45分(90分間)

内容:アルコール・ニコチンおよび薬物依存の治療における精神科薬剤師の役割

会場:愛知県産業労働センター:B会場(小ホール2)

■第21回日本臨床精神神経薬理学会・第41回日本神経精神薬理学会 合同年会

日時:平成23年10月27日(木)~29日(土)
(東京)【日本神経精神薬理学会
薬剤師精神医学セミナー】日時:平成23年10月29日(土)
14時15分~15時45分(90分間)

内容:向精神薬の過量服薬防止に向けて

会場:新宿京王プラザホテル第1会場(5階エミネンス)

■第5回 精神科専門薬剤師セミナー

【精神科急性期治療における
精神科専門薬剤師の役割】日時:平成23年10月30日(日)
10時~15時40分

会場:日経ホール(東京)

参加費:4,000円(セミナー当日にご準備ください)

共催:朝日新聞社/大塚製薬(株)/

精神科臨床薬学研究会

認定単位:(財)日本薬剤師研修センターの
研修受講シール(3単位)

2011年度上期の活動状況

基本テーマ：抗精神病薬の多剤併用大量処方とその問題点について

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数	
北海道	札幌	9月4日	ときわ病院 宮澤 仁朗	ときわ病院 宮澤 仁朗	平松記念病院 高橋 満里	41	
東北	盛岡	10月16日	岩手医科大学 武内 克也	岩手医科大学 武内 克也	岩手晴和病院 高屋敷 一也	青南病院 黒沢 雅広	未
	仙台	10月23日	東北厚生年金病院 三浦 伸義	東北厚生年金病院 三浦 伸義	山形さくら町病院 齊藤 寛	青南病院 黒沢 雅広	未
関東・甲信越	東京	10月16日	東京女子医科大学 東医療センター 山田 和男	江北メンタルクリニック 斎藤 広生	慶應義塾大学病院 磯上 一成	未	
	大宮	7月24日	埼玉精神神経センター 三浦 宗克	朝日病院 朝日 公彦	永井ひたちの森病院 伊師 頼子	30	
	千葉	6月26日	千葉大学大学院 医学研究院精神医学 渡邊 博幸	秋元病院 宮崎 和紀	秋元病院 香取 牧子	32	
東海	名古屋	7月3日	藤田保健衛生大学 岩田 仲生	藤田保健衛生大学 岩田 仲生	聖十字病院 玉地 亜衣	三重県立こころの医療センター 中村 友喜	41
北陸	金沢	8月7日	富山大学 住吉 太幹	七尾松原病院 南野 壽利	福井県立病院 川崎 美雪	福井病院 村山 順一	46
近畿	大阪	7月31日	さわ病院 渡邊 治夫	さわ病院 渡邊 治夫	さわ病院 橋本 保彦	—	64
	京都	8月21日	もみじヶ丘病院 芝 伸太郎	もみじヶ丘病院 芝 伸太郎	もみじヶ丘病院 辻本 千代美	—	59
中国・四国	広島	9月4日	県立広島病院 高畑 紳一	小泉病院 小野 晴久	瀬野川病院 静村 知恵	小泉病院 小野 晴久	41
	高知	8月7日	細木ユニティ病院 高坂 要一郎	高知ハーモニー・ホスピタル 細川 荘	細木ユニティ病院 松田 幸彦	30	
九州	福岡	7月24日	のぞえ総合心療病院 堀川 公平	嬉野温泉病院 谷口 研一朗	篠栗病院 坂田 睦	嬉野温泉病院 谷口 研一朗	113
	鹿児島	9月4日	せいざん病院 石川 慎一	せいざん病院 石川 慎一	せいざん病院 宮崎 直子	横山病院 満留 敏弘	29
	沖縄	7月3日	平安病院 安里 尚彦	東邦大学 吉尾 隆	平安病院 安里 尚彦	平安病院 大城 舞子	平安病院 安里 尚彦

精神科薬物療法認定薬剤師の認定講習会となる予定の講習会および学会 (2011年)

講習会、学会名	日時	会場
第21回医療薬学会年会(神戸)	2011年10月1日(土)、2日(日)	神戸国際会議場・神戸国際展示場
平成23年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会(名古屋)	2011年10月13(木)～15日(土)	愛知県産業労働センター
第21回日本臨床精神神経薬理学会・ 第41回日本神経精神薬理学会 合同年会(東京)	2011年10月27日(木)～29日(土)	京王プラザホテル
平成23年度精神科薬物療法認定薬剤師講習会(東京)	2011年11月6日(日)	星薬科大学 百年記念館講義室
第54回日本病院・地域精神医学会総会(沖縄)	2011年11月18日(金)、19日(土)	沖縄コンベンションセンター

※あくまで予定ですので詳細は各自ご確認下さいませようお願い致します。

東日本大震災後の被災地における医療救護活動について

今回、私は所属する病院の医療救護チームの一員として3月24日から28日までの5日間、岩手県の大槌町で医療救護活動を行ってきました。避難所となっている小学校内に設けられた救護所で先に支援に入っていたDMAT隊員から引き継いで診療にあたりましたが、災害発生から約2週間が経過しているにもかかわらずライフラインは途絶したままで、部屋の中は薄暗く、外はまだ雪が降り積もり寒さがこたえる状況でした。診療では慢性疾患に対する継続処方を希望される方が多く見られましたが、救護所の限られた薬の中から処方しなければならず、用意できる薬で最適と思われる処方の医師への提案と患者への服薬指導が重要な仕事となりました。今回の派遣で被災地における薬の専門家としての薬剤師の必要性がとても実感できました。

近畿ブロック世話人 宮原 佳希

大震災から2ヶ月半が過ぎた6月上旬、薬剤師会のボランティアに参加した。ボランティア先は岩手県大船渡市だった。北上市に前泊し、翌朝約70km先にある大船渡市のボランティア活動拠点薬局を目指した。現地までの道中は、きれいな山や川を見ながら、同行した薬剤師と「きれいだね」という言葉を交わした。しかし、大船渡市に近づくとそんな景色は一転した。「壊滅」この言葉以外に表現する言葉が見つからなかった。拠点薬局である気仙中央薬局に着くと、孤軍奮闘状態でがんばっていた地区部会長の金野薬剤師から本日のボランティア活動の説明が行われた。全国から届けられた救援物資の中から岩手県薬剤師会で作った常備薬セットを、避難所及び仮設住宅を訪問し、必要に応じて無償配布することと、津波に流された「お薬手帳」を作成するという内容であった。大船渡市の各地区を回り3日間で各50セット、50冊配布した。訪問先では「ありがとう」という言葉をたくさんいただいた。しかし、そんな嬉しさよりも、もっと早く被災前の町に戻って欲しいという被災者と同じ気持ちを強く感じた。帰路のついでに通った隣町の陸前高田市は、更に悲惨な状況だった。現在、薬剤師会のボランティア活動は一時中止しているが、震災の爪あととは未だに深く残っている。現地入りする活動が全てではない。薬剤師として、一人の人間として、今後被災地区が完全に復旧するまでは、被災された方々のためになるようなことを考えて行動しなければならない。

東北ブロック世話人 黒沢 雅広

行ってきました、ザルツブルク!

東日本大震災による混乱の最中の4/1～3、オーストリアのザルツブルク(モーツァルトが生まれた音楽の都)において、CINP Thematic Meetingが開催されました。CINPの合間に開催されるこの学会では、毎回決められたテーマについて様々なシンポジウムが企画され、世界の第一線で活躍されている先生方が集います。

今回のテーマは、“Polypharmacy : The Good, The Bad and The Ugly”。

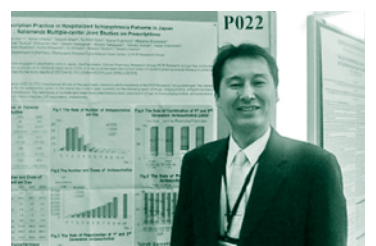
統合失調症だけでなく、双極性障害、大うつ病、老年期および小児期の薬物療法と幅広いタイトルでシンポジウムが生まれ、大変刺激的なレクチャーとディスカッションが繰り広げられました。もちろん、すべてEnglishです。

そんなエキサイティングな学会の2日目の午後、PCP研究会で行っている処方調査(2007～2009)を、日本の統合失調症薬物療法の現状としてポスター発表しました。閲覧に来られたフランス、ドイツ、ナイジェリアのDr. に示説を行ったところ、抗パーキンソン薬や抗不安薬・睡眠薬の併用の多さを気にされていました。

来年はストックホルム(スウェーデン)でCINP World Congressが開催されます。

是非、ご一緒しましょう!

東海ブロック世話人 宇野 準二



世話人退任にあたって

思い起せば7年前、世話人がなんたるかもわからないままにこの役を引き受けてしまいました。その後、講演会の準備、学会発表、共同執筆、世話人会での広報係など、色々な経験をさせていただきました。これらは私にとって容易な仕事ではなく不安も多々ありましたが、常に他の世話人や地域の薬剤師が支えてくれました。世話人の仕事を通じて、自分自身の勉強や刺激になったことはもちろんですが、地域や全国に薬剤師仲間が増えネットワークが広がったことに、心より感謝しております。

今後は、PCPのいっそうの発展を願いつつ、一会員として参加するつもりです。長い間、本当にありがとうございました。

北海道ブロック世話人 杉村 和枝

新世話人紹介

このたび井出先生からのあついラブコール(?)により関東・甲信越ブロックの世話人になりました東京女子医科大学病院の高橋結花です。この会には当初から参加しており、毎回大変勉強になっておりました。まさか自分が世話人になるとは……。今後は自分の知識向上のためだけでなく、世話人の先生方と協力しているいろいろな企画を考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

関東・甲信越ブロック世話人 高橋 結花



2011年度下期ブロック講演会開催(予定)のご案内

基本テーマ：統合失調症服薬アドヒアランス向上へのアプローチ

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札 幌	3月 3日(土)	大塚製薬(株)札幌支店
東 北	盛 岡	3月11または25日(日)	マリオス盛岡
	仙 台	3月11または25日(日)	アゼリア ヒルズ17F アゼリアホール
関東・甲信越	東 京	3月11日(日)	秋葉原UDX
	千 葉	2月12日(日)	大塚製薬(株)千葉支店
	大 宮	2月19日(日)	ソニックシティビル6F 会議室602
東 海	名古屋	2月19日(日)	ウィンクあいち 愛知県産業労働センター
北 陸	金 沢	3月 4日(日)	石川県地場産業振興センター 新館5F 第12研修室
近 畿	大 阪	2月 5日(日)	梅田スカイビル
	京 都	2月26日(日)	メルパルクKYOTO
中国・四国	岡 山	2月12日(日)	岡山コンベンションセンター(ママカリフォーラム) 会議室
	徳 島	2月 5日(日)	徳島県JA会館
九 州	福 岡	3月11日(日)	福岡国際会議場
	鹿児島	3月 4日(日)	未定
	沖 縄	3月18日(日)	未定



事務局 掲示板

■2011年度会費(2011年4月~2012年3月分、年会費：2,000円)納入のお願い

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

※通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。
(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「抗精神病薬の多剤併用大量処方とその問題点について」貸出中

2011年度上期講演会を欠席された会員の皆様にDVDを貸出しております。希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホームページに掲載)の貸出も受け付けております。

【事務局連絡先】

E-mail : contact@pcp-rg.org (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)
URL : www.pcp-rg.org Fax : 03-6717-1484

【編集後記】

東北大地震から約半年が経とうとしております。大規模災害時に、薬剤師として何が出来るのだろうかといまだに自問自答しています。さて、この7月に精神疾患が5大疾病に加えられました。自殺者が年間3万人を超える昨今、私たち精神科の薬剤師として出来ることを考えましょう。

(T.H.)



がんばろう日本!

平成 23 年 9 月

精神科臨床薬学研究会
会員各位

精神科臨床薬学研究会
広報委員会

PCP 研究会 Newsletter No.11 の訂正とお詫び

皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、PCP 研究会 Newsletter No.11 に下記の誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに、訂正させていただきますのでご了承いただければ幸いです。

記

『精神科薬物療法認定薬剤師の認定講習会となる予定の講習会および学会(2011年)』(2ページ下)について、表の上から1番目「第21回医療薬学会年会(神戸)」が認定学会として記載されておりますが、実際には精神科薬物療法認定薬剤師講習会ではございません。お詫びして訂正させていただきます。

敬具